



ア エ ファ
AEFA 通信

NPO法人 **アジア教育友好協会**

〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721

特別国際授業 10/20～10/24

～ベトナム・ラオス・タイのNGOスタッフを招いて～

AEFAと手を取り合って活動している、右の3カ国・4名のNGOスタッフが、AEFAスタッフとともに日本のフレンドシップ校で出前授業を行いました。その様子をお伝えします。



ホアンさん
(ベトナム)



ランさん
(ベトナム)



ヴィラソンさん
(ラオス)



ウドムさん
(タイ)

ホアンさんはベトナム南部を拠点としているNGO 'Saigon Children's Charity'で奨学金部門プロジェクトマネージャーとして働いています。



倉敷市立倉敷西小学校では、足をつかってゴムで女の子が遊ぶゴム紐を、簡単に作ってしまうホアンさんに、子どもたちはとても驚いていました。ベトナム語講座も開かれました。**倉敷市立水島中学校**では、ホアンさんから渡された「紙」は何か、クイズが出ました・・・生徒たちは、触ったり、においをかいだり、ようやく「ライスペーパー」(生春巻きを包むもの)と分かりました。

奈良市立済美小学校では、最初に全校児童が「もみじ」等の歌をプレゼントしてくれました。児童たちからは「ベトナムには鉄道はありますか？」等の質問が次々と出ました。また、6年生を対象に「NGOの活動」についての授業を行いました。



国立市立国立第七小学校の5年生たちは、授業の前に2時間、ベトナムについての調べ学習をしてくれたため、ベトナムについてよく知っており、授業も熱心に聞いてくれました。最後に校歌の合唱を披露してくれ、温かな雰囲気の中、授業が終わりました。

ヴィラソンさんはラオスのNGO 'Village Focus International'で学校建設事業等を担当しています。**倉敷市立玉島南小学校**では、交流校のノンドン小学校の子どもの生活の様子や、玉島南小の児童が中心となつて地域で行っているアルミ缶収集での支援から贈呈された、牛2頭「たまちゃん&しまちゃん」の様子を紹介しました。児童からは「学校の名前を牛につけてくれて嬉しい」、先生からは「ラオスの子どもたちが頑張っている様子が実感を伴って伝わった」との感想をいただきました。



倉敷市立旭丘小学校では、交流校のラオン小学校の子どもたちの生活を紹介します後、ラオスのゲームを一緒に遊びました。最初は

ラオスから人が来たことが信じられなかった児童も、ラオスを身近に感じてもらえたようです。**奥多摩町立古里小学校**では、ラオスの子どもたちの生活を紹介し、児童たちは、ラオスの子は家のお手伝いをたくさんしているなど、日本の子どもとの様々な違いに気づいたようです。児童からラオスの割り算について質問され、ヴィラソンさんが黒板で計算式を示すと、日本との違いに先生方もビックリ。横浜の**橋幼稚園**へは、AEFAの活動に関心を寄せてくださった父兄の方のご厚意でお邪魔しました。ヴィラソンさんは子どもたちに手をひかれ、こまをまわしたり、絵を見せてもらったり、お誕生会に参加したり・・・子どもたちも先生方も心から歓迎してくださいました。



ウドムさんはタイのNGO 'Raks Thai Foundation'のチェンマイ支部長。環境活動、エイズ予防、教育等様々な分野のプロジェクトの統括業務を行っています。



町田市立小山田小学校では、タイの少数民族カレン族の子どもが、自分たちで野菜を育てて料理をしながら学校で学んでいる様子を紹介。カレン族の子どもたちが手織りしたバッグを児童にプレゼントすると、「これが手作りだなんてすごい！」との歓声があがりました。**港区立赤羽小学校**でも、同様にカレン族の子どもたちの生活を紹介。同い年の子どもが自給自足の生活をしていることにびっくりしていました。「どんな動物を食べてるのですか？」などの質問がたくさん出ました。

小山田小学校にて
タイ・カレン族のバッグを贈呈



赤羽小学校にて
カレン族のおもちゃに見入る

特別国際授業スケジュール

スタッフ	日付	学校名
ホアン	10月21日	倉敷西小学校
	10月21日	水島中学校
	10月23日	済美小学校
	10月24日	国立第七小学校
ラン	10月20日	向台小学校
	10月21日	藤野南小学校
	10月22日	保土ヶ谷中学校
ヴィラソン	10月24日	立会小学校
	10月21日	玉島南小学校
	10月22日	旭丘小学校
ウドム	10月23日	古里小学校
	10月21日	小山田小学校
	10月22日	赤羽小学校

*ヴィラソン：10月24日に橋幼稚園も訪問



ランさんはベトナム全域で活動するNGO 'Health Ed'の学校建設と交流事業の担当者です。中野区立向台小学校では、ベトナムの生活や、簡単なベトナム語講座、そして大人気だったのがベトナムの羽根つきサッカー「ダッカ



藤野南小学校にて名残惜しいお別れのとき

オ」の実演でした。相模原市立藤野南小学校では、交流しているタイタン小学校あての壁新聞や文具、手紙が児童から次々とランさんに渡されました。最後に校庭で「ダッカオ」を下校時刻ぎりぎりまで遊びました。子どもたちはすっかりランさんになつき、最後まで離れようとしませんでした。

横浜市立保土ヶ谷中学校は、ベトナムのティン・トゥオン小学校と交流しています。ティン・トゥオン小学校の子ども親の多くは、ハンセン病患者です。出前授業には50名もの保護者の方が参加していただき、ハンセン病コロニーができた経緯や、貧困の原因など、質問が多数出ました。



立会小学校にて壁掛けを贈呈した

品川区立会小学校では、「ベトナムで人気のあるマンガは？」などクイズも織り交ぜての授業を行いました。他にもベトナム語の練習、そして「ダッカオ」の実演はここでも大人気でした。最後に、立会小と交流をしているベトナムのタムホア第2小学校からベトナムの寺院の写真が入った壁掛けが贈られました。

第1回『AEFA交流大賞』決定！！

去る10月25日(土)に、『第3回AEFAフォーラム』が開催され、フレンドシップ校の先生方、教育関係者、AEFA友の会会員の方など、78名もの方々にご参加いただきました。参加者の方々に、今年度



ベトナム/ティン・トゥオン小学校の壁新聞は次点



武蔵村山第八小の絵手紙が大賞を獲得



AEFAから各学校に贈った

ベトナム・ラオス・タイ・日本各校の交流の中で一番「交流への意欲を感じる、優れた活動」を投票で選んでいただきました。

その結果、武蔵村山市立第八小学校の絵手紙が見事『AEFA交流大賞』に輝きました。「交流賞」の表彰状(上:交流大賞)た。ラオスのかぼちゃを育てる『かぼちゃプロジェクト』、その生育の様子を絵手紙に描いたり、またラオスから届いたかごなど生活の道具を絵手紙に描いたものです。次点には、ベトナム/ティン・トゥオン小学校の壁新聞が選ばれました。先生への尊敬、先生から受ける愛情を表現している作品です。この他にも4カ国・19点の優れた交流作品や交流活動が『AEFA交流賞』として賞され、表彰状(写真:右上)が各学校に贈られました。

LUSH JAPAN様からのご支援

～ラオス・パチュドンの子どもに貴重なお米が贈られました～

LUSH JAPAN様からご支援いただいたお米が、ラオスのパチュドン小・中学校に届けられました。9月、サラワンの市場でお米(粳付6200kg・粳無し4600kg)を現地NGOが購入、レンタルトラックで山岳地帯にあるパ



米運搬の様子

チュドン小中学校に運搬しました。運ばれたお米は、先生・生徒手作りの米倉庫と、先生の家倉庫に給出で運び、虫除けのネットに包み、大切に鍵をかけて管理されていました。「この地域は、土地が痩せていて、とにかくお米が足りないのです。たとえお金があっても、お米が無いから買えません。私たちにとって大切な主食である、お米があることは、本当に有り難いです。(パチュドンの先生談)」貧困から食料採集や農作業のために学業を断念する子どもがまだまだ多いこの地域。お米の支援は本当に大きなものです。LUSH JAPAN様、ご支援を本当に有難うございました。

AEFA活動報告 & お知らせ

*10月25日に『第3回AEFAフォーラム』が開催されました。外務省NGO担当大使、五月女光弘様による素晴らしい基調講演で幕開けし、4名の現地NGOスタッフの活動報告と、日本の学校の先生による交流事例発表などがあり、成功裡のうちに終了いたしました。詳しい内容は、09年1月発行予定のAEFA会報第8号にて報告いたします。



五月女大使



78名の参加者全員で記念撮影

★フレンドシップ校の先生方へ 来年度の具体的な交流および活動計画につきまして、12月にかけて、ご訪問にてご相談、あるいは資料を送付させていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。